

# みんな元気！ 9/15

## ～オンライン〇〇の多様化について～

まず初めにオンラインとは、端的に言うと「インターネットにつながっている状態」のことです。最近ではカメラや家電、おもちゃ等もオンラインになり、遠隔操作やクラウド(ハードウェアを購入したり、ソフトウェアをインストールしなくても利用できるサービス)でのデータ管理ができるようになっていきます。

今般の新型コロナウイルス禍に伴う様々な自粛により、オンライン〇〇という言葉が耳にされることが増えてます。“主にIT企業だけ”、“私には覚えられない、興味がないから”と思われる方が多いですが、いよいよ介護業界に措いても避けては通れない取り組みとなってきました。3密を避ける、なるべく他者との接触を避ける観点から利用者に関わるサービス担当者会議や社内会議、スキルアップのため外部研修への参加や社内研修、医療機関との会議や連携など、オンラインの活用が増えており、当社も少しずつ取り組んでおります。

## Zoomと言うアプリケーションはご存じですか？

Zoomとは、いつでもどこでも、どんな端末からでも Web会議を実現するクラウドサービスで、簡単に言えば、複数人での同時参加が可能な「ビデオ・Web会議アプリケーション」です。通常はひとつの場所に集まって実施する必要があるミーティングや研修がオンライン上で可能になることから、ビジネスシーンで多く活用されています。

PC、スマートフォン、タブレットなど、現在一般的なデバイス(情報端末や周辺機器)であればZoomをインストールできます。マイクやカメラが搭載されていない端末でも、汎用品の外部機器を接続すれば電話会議、ビデオ会議が可能です。また、Windows、MacOS、Android、iOSなど、あらゆるOS(コンピューターを動かすためのソフト)に対応しているのも特徴で、Zoomの利便性を高め、近年注目の業務効率化ツールの一つとなっております。

ビジネスに役立つZoomの代表的な機能を以下でご紹介します。

### ①一般的なビデオ・Web会議にあたる「オンラインミーティング」で活用できる機能です。

Zoomはビデオによる高画質のビデオ出力、また高音質での音声出力に対応しています。映像や音声でストレスを感じることなくディスカッションをすることが可能です。多くのデバイスでは、最初から搭載されているカメラ・マイクで申し分ない使用感になります。また、特筆すべきはビデオ参加者数の上限です。1つの会議につきオプションにより最大1,000名までの参加者を許容します。ビジネスで役立つ画面共有機能も充実しています。テキスト、イメージ、音声、ホワイトボードなど、多くのファイルを共有可能です。また、PCの画面はスマートフォンをはじめとするモバイル(移動先でコンピューターを使用する)端末にも、そのまま共有できます。会議がクラウド上またはローカルに自動保存される機能も搭載されています。この機能があれば、議事録を作成する手間も省けますし、会議に参加できなかった人のキャッチアップにも役立ちます。

### ②オンライン上で社内研修を行うこともできます。

参加者が閲覧できるホワイトボードは、社内研修で役立つ機能の代表例です。講師がZoomで記述するホワイトボードを参加者に共有すれば、実際の研修さながらの講義が実施できます。スマートフォンやタブレットなどデバイスを問わずに使える「共同注釈」の機能も研修では非常に便利です。研修では「ビデオブレイクアウトルーム」の機能も役立ちます。参加者を小規模なグループに分割できるため、仮想的にグループワークを実施可能です。1つのブレイクアウトルームに最大200人が参加するセッションを作成でき、さらに最大で50のブレイクアウトルームを作成できるため、会場を用意することが困難な大規模な研修にも対応できます。

その他、オンラインセミナーなどのプランやオプションが様々あります。しかし最大の特徴は使い方が簡単であることです。10月の社内研修では実際に参加者全員で体験し、覚えていく予定としてます。今後、皆さんも怯まず業務効率に繋がりますので積極的に取り組んでいきましょう。